学校番号	1101

令和八年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界遺産研究Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	はじめて学ぶ世界遺産 50　世界遺産検定 4 級公式テキスト（ＮＰＯ法人世界遺産アカデミー）						
副教材等	世界遺産検定公式問題集３・４級　2026 年度版（ＮＰＯ法人世界遺産アカデミー）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・定期テストに加え、小テストを単元ごとに行い、成績に反映させるとともに、授業の進度をはかる一助とする。
・検定試験の結果については、教科内で定めた基準により、成績に反映させる。
・各世界遺産の紹介スライド課題は、Chromebook を利用して作成する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本と世界遺産の基礎知識や価値を学び、世界各国の歴史や地理、文化や生活、産業などを多角的に理解し、世界遺産検定４級と同等の力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
世界遺産に関する情報を調べ、その重要性を多面的・多角的に考察し議論できる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
世界遺産への興味関心を高め、その意義や背景にある歴史や文化について、主体的に追究する態度を養い、自然や文化を保護することの大切さを自覚する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界遺産検定 4 級と同等の知識を身につけている。 ・資料や情報を効果的に調べ、まとめている。	・自ら設定したテーマに取り組み、発表や討論などで自己の考えを表現している。 ・身につけた知識や概念を活用して、世界遺産に関する事象の意味や意義を、多面的・多角的に考察できている。	・世界遺産への興味関心を高め、その意義や背景にある歴史や文化について、主体的に追究し、まとめようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎知識	世界遺産の意義や分類などの概要を学び、検定試験に向けての対策を行う。 関連する動画を視聴し、理解を深める。 ワークブックに取り組み、学習内容を主体的に整理・理解する	a: 重要語句の意味を知り、世界遺産を守るしくみについて正しく理解している。 b: 世界遺産条約が結ばれた理由や意義を、自然や社会的な面から多角的に考察している。 c:テキストや視聴覚教材から、各遺産の意義を主体的に読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	授業態度 ワークブック 授業メモ
	日本の世界遺産	日本の世界遺産が登録された各々の理由を学び、検定試験に向けた知識を得る。 関連する動画を視聴し、理解を深める。 ワークブックに取り組み、学習内容を主体的に整理・理解する。	a: 各遺産の登録理由について、重要語句の意味を知り、正しく理解している。 b: 地理的・歴史的背景を踏まえた上で、各遺産の意義を適切にまとめている。 c: 学ぶ中で生じた新たな疑問を言語化し、主体的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 「要約」課題	授業態度 ワークブック 授業メモ 「新たな問い」課題
後期	海外の世界遺産	海外の代表的な世界遺産が登録された理由を学び、検定試験に向けた知識を得る。 関連する動画を視聴し、理解を深める。 四択クイズや模擬試験に取り組み、学習内容を主体的に整理・表現する。	a:各遺産の登録理由について、重要語句の意味を知り、正しく理解している。 b:地理的・歴史的背景を踏まえた上で、各遺産の登録理由の要点を選び取り、適切にまとめている。 c: テキストや視聴覚教材から、各遺産の意義を主体的に読み取ろうとしている。	定期テスト 小テスト 検定試験の結果	定期テスト 小テスト 検定試験の結果	授業態度 四択クイズ 模擬試験
	クイズ自作	今後の４級受検者向けに、各遺産の重要ポイントを問う四択クイズを自作する。	a:各遺産の要点を正しく説明している。 b:知識だけでなく思考力が必要な問題を作成している。 c：既成の問題を参考にして、オリジナルな作品づくりをしている。	クイズ	クイズ	クイズ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度